

インフォメーション

令和5年度主な活動

- R5.5.19～22 第53回武相華道展 (町田パリオ)
- 6.4 総会 (北京飯店)
- 6.28～7.3 第73回神奈川県華道展 (アミューあつぎ)
- 7.30 代表者と教授者のつどい (ベテルギウス会議室)
- 10.14～11.3 一般公募展添花(大和市文化祭) (シリウス1階・ギャラリー)
- 11.21～11.23 第20回大和市民芸術祭 (シリウス1階・ギャラリー)
- 11.25～11.26 第72回いけばな諸流展 (シリウス1階・ギャラリー)
- R6.2.未定 新春のつどい
- 3.1～3.7 グリーンアップセンター展示花
- 3.22～3.25 第54回武相華道展 (町田パリオ)

第72回 いけばな諸流展

会期 令和5年11月25日(土)～26日(日)
10時～17時
会場 大和市文化創造拠点シリウス・ギャラリー

新入会者

高野真流 泰山華道 覺正 宗豊齋

新役員

藤澤 由佳 (企画) 荻窪 虹礼 (会計監査)
御木 理枝 (広報) 北岡喜須恵 (会計監査)

退任役員

飯笹 松峰先生 (企画)
(長い間ありがとうございました)

新入会員募集

いけばなを教えている方にお勧め下さい
問い合わせ先 会長 大垣 鳳菜 ☎046(267)4153 (随時受付)

印刷/S I印刷 TEL 046-269-5400・FAX 046-269-1697

心に残る 私の一作



伊藤 洸仁 (草月流)

この作品は昨年、大和市一般公募展の添花としてシリウスに出品したものです。
私の庭で、華道のために木々を育てております。その中から柗木に2種の百合、2種の菊を活けてみました。

グリーンアップセンター展示花

会期 令和6年 3月1日(金)～3月7日(木)
前期 3月1日(金)～3月3日(日)
後期 3月5日(火)～3月7日(木)
出瓶はいけばな諸流展の折、お申し込み下さい。

ボランティア活動

大和市役所、市民活動拠点ベテルギウスの花席に交代でお花を活けております。
ご希望の方は担当までご連絡下さい。
(連絡先) 荻窪 一成 Tel 046-263-0447
御木 理枝 Tel 046-264-9270

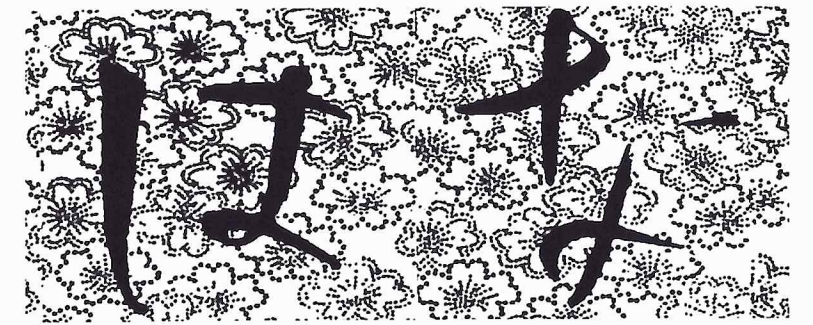
編集後記

「はな」発行にあたり、ご寄稿頂きました市長様、教育長様はじめ会員の皆様には御礼申し上げます。日常に戻りつつある中、今後も当協会の活動記録をお届けして参ります。

広報 荻窪・御木

大和華道協会

発行 令和5年10月1日
創刊日 昭和54年10月1日
事務局 大和市上和田124-12
046(267)4153



「日々是好日」

会長 大垣 鳳菜

会員の皆様、お障りなくお過ごしでしょうか。平素は大和市役所・ベテルギウスの花席の挿花をはじめ、諸行事へのご協力に心より感謝申し上げます。

今夏は猛暑日の連続でこれまでに経験したことのない暑さでした。国連のグテーレス事務総長は世界で起きている異常気象を「地球沸騰化」と表現しました。私達は大変な時代を生きていることを実感した夏でした。

上半期が過ぎ、協会の現況を少し述べたいと思います。現在、第72回「いけばな諸流展」(11月25～26日)の開催に向け準備を進めています。代表者を教授者のつどい(7月30日)に於いて諸流展の実行委員会の発足、会場のレイアウトや花名クイズラリーの実施が決まりました。コロナ禍後の開催を鑑み、新しい華展の在り方を探って参りたいと思います。諸流展はお稽古での成長を発表する良い機会です。大いに挑戦してみたいでしょうか。

このところ、ある気付きがありました。電車で乗り合わせる方の足元。7割8割スニーカーなのです。(勿論朝夕の通勤時間を避けてのことですが)一時のトレンド? それとも実用重視でしょうか? 靴屋さんにステキなスニーカーが並んでいるところ双方相俟っているのでしょうか? 以前、街中のリュック姿に少しとまどい

を感じたことを思い出します。今ではファッショナブルなリュックを背負う老若男女を普通におみかけします。

昭和育ちの私には、スニーカーもリュックも行楽やスポーツに結びつくアイテムなのです。この固定観念、なかなか越えられないかと思うのです。しかし、多様性が重視される現在、ファッションもまた多様であってもよく、自由に選んだものを自分らしくまとう、心地よく、個性を表現できる時代になったのだと解放された気分になるのです。が足元はスニーカーではなく、転ばぬ先のフラットシューズ止まりなのです。

さて、お手許に植物辞典や花材事典がごありでしょうか。ページを開けば調べたい植物の学名、科目、原産地等々詳しく知ることができます。今はスマホで全て得られるのですが、その植物辞典を作った牧野富太郎博士が今、高視聴率のNHK朝ドラ「らんまん」の主人公です。「日本植物学の父」牧野博士は幕末から昭和にかけて95年の生涯をかけ植物を採取し、詳細な図を描き、分類し又、新種の名付け親でもあったのです。珍しく植物にスポットが当たっています。ドラマの人気にあやかり、いけばなにも光明がさして欲しいと秘かに期待しているのです。(8月記)



第71回 いけばな諸流展 (R4.11.26～27)

特別寄稿

「暮らしに花を」

大和市長 古谷田 力



会報「はな」第40号のご発行、誠に
おめでとうございます。大和華道協会
の皆様におかれましては、世界に誇る
日本の華道の魅力を広く市民に発信
するとともに、次世代の担い手育成のため、日々ご尽力いた
だいておりますことに、深く敬意と感謝を表します。

また、会員の皆様のご厚意により、長きにわたり、市役所
の正面玄関に作品を飾っていただき、美しく凛とした佇ま
いの作品から、市役所を訪れる市民の皆様だけでなく、私
を含めた本市職員も元気をいただいておりますこと、あらた
めてお礼申し上げます。

現代社会において、日々報道される話題は、痛ましい事
件や事故、増加する犯罪、頻発する災害等の社会的な不
安をおもものも多く、心に安らぎを感じるような話題は少
ないと感じています。また、世界に目を向ければ、依然として
終わりの見えない紛争によって、立場の弱い多くの方々が
犠牲となっている状況に、世界中の人々が心を痛め、大き

な不安を感じて暮らしています。このような不安を抱えた現
代社会において、必要なのは「彩り」と「癒し」であろうと考
えます。花は、暮らしの中に彩りや癒しを与えてくれる存在
です。花が身近にあることで、日常の何気ない暮らしの中
でも幸せを感じることができます。日々の暮らしの中に、花を
取り入れ、心豊かに暮らす人が増えることで、幸福で思い
やりにあふれた、より良い社会となることを願っています。

大和華道協会の皆様におかれましては、今後とも、華道
に精進され、美しい作品の創作を通じて、花のある暮らし
や、華道の素晴らしさをさらに多くの人々に広めていただき
たいと思います。

本市といたしましても、日本を代表する伝統文化である
華道が、将来にわたって確実に伝承し、発展していくよう、
全力で取り組んでまいります。

結びに、皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心よりお
祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

いけばなに魅せられて

入門から30数年、先生のおっしゃった「道端の小
さな花もかわいいでしょ！」という言葉が、今も心
に響いており、花も葉も心から感じられるようにな
ったことを嬉しく思います。いけばな諸流展は、作
品を介し、流派を超えて、いけばなの魅力を分かち
合える有意義な場であり、大和華道協会を大きな花
かごに例えるなら、自分も小さな一輪であることを
幸せに思います。また良き仲間と共に稽古に励め
ることに感謝しています。

草月流 安西 陽華 (井上春陽社中)



第71回いけばな諸流展 (R4.11.26~27)

武相華道展に出瓶して

町田小田急百貨店から町田パリオに移って初めて
の出瓶となり、レンギョウのお生花に挑戦しまし
た。自然を生かしながら暴れる枝ぶりを四苦八苦し
ながらもまとめましたが思い通りにならず、次のス
テップに繋がる良い経験になりました。

また、諸先生方の個性豊かな作品を拝見し、アイ
デアのヒントを見つけ、思いを巡らすかけがえのな
い時間を頂きました。

古流松蔭会 塩野 理清



公募展添花

公募展添花 (草月流)

ご挨拶

大和市教育局教育長 柿本 隆夫



この度の会報「はな」第40号のご発
行を、心よりお慶び申し上げます。

大和華道協会の皆さまにおかれま
しては、今日まで70年以上に亘り、四
季折々の花々や枝葉を用い、瑞々しく風雅な、気品と情感
に溢れた展示会を開催することで、市民の方々への華道の
普及、日本の伝統文化の振興にお力添えをいただき、深く
感謝いたします。

貴協会は、花々の美しさや、巧みに構成した草木を見る
人の豊かな感受性を育み、弛まず芸の道を進んでこられま
した。その不断の歩みは華道の多彩な展開を開き、芸術性
を深めていくのみならず、本市の文化・芸術の推進にも大き
く貢献されてきました。教育行政を担う者として改めて敬意
を表する次第でございます。

コロナ禍を経て、少しずつではありますが日常の光景が
戻りつつある今、貴協会の、花に寄り添う華道に想いを凝
らし、磨いてきた技芸の成果が花開く機会はいつそう増え
ていくものと思われま。貴協会が長らく歩まれてきた華道
の振興のための活動は、どのような時代においても人々の心
を養い癒すものであると考えます。

これからも、様々な場面において彩り豊かな、素晴らしい
作品をご披露され、華道の心を未来へつないでいただくこ
とを切に願っております。

終わりに、貴協会員の皆さまが、これまで紡がれてきた
輝かしい歴史と伝統を礎に、今後ますます発展されますこ
とをお祈り申し上げ、伝統文化の継承と振興を祈念いたし
まして私からの挨拶とさせていただきます。

役員をお引き受けして

私にとって三村先生の教室でのお稽古は、季節の
花たちと向き合う事のできる、先生方や友人たちと
のかけがえのない時間です。また創立70周年記念い
けばな諸流展には先生のご指導のもと、初めて出瓶
させて頂きその時の緊張と、諸先生方や先輩方の作
品の素晴らしさに感動した事も忘れられません。

この度役員をお引き受けすることになり、未熟な
私に務まるだろうかと不安でいっぱいですが、お話
しをいただいたのもご縁かと思ひます。微力ながら
活動のお手伝いが出来ればと思っております。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

草月流 御木 理枝

役員をお引き受けして

今期役員という身に余るお役を拝命し、大変恐縮
に思っております。さらに参加者から当事者となっ
たことにより、今までとは違う心持ちでもありま
す。普段は草月流 井上春陽先生・陽眞先生の社中
として、よい仲間と囲まれて楽しくお稽古しており
ます。職業柄、拘束時間が長い会社員ですのでも
は1年間仕事との両立を目標とし、新たな視点で大
和華道協会のお役に立てるよう頑張っております。
ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

草月流 藤澤 由佳

役員退任あいさつ

顧問 飯笹 松峰

私が大和華道協会にお世話になるきっかけは偶然に
もグリーンアップセンター周辺を散策している際、華道展
が行われており、その華やかさに誘われ会場に足を踏み
入れましたら、とても生き生きとした素晴らしい活け方
で魅せられてしまいました。その時に声をかけられ入会さ
せて頂くこととなりました。4~5年後には協会の内容も分
からないまま、役員を仰せつかり、何も分からず時が過ぎ
てしまった気がします。楽しい思い出が走馬灯の様に駆
け巡ります。

近年においては新型コロナウイルス感染症の影響で
多くの華展が中止になってしまいました。現在は5類に
移行され、収束の方向に向かい華展も徐々に開催され
ておりますが社会情勢の厳しい中で習い事を避ける傾
向にあります。が、72年の歴史を持つ当協会です。諸
先生方の変わらないご尽力でこれからのご発展を切
に願っております。

最後になりましたが、会長はじめ大和華道協会の皆
様には深く感謝申し上げます。



公募展添花 (古流・大観流)



総会 北京飯店 (R5.6.4)

